

スタッフ便り 1

サイバーサイエンスセンター・情報部デジタルサービス支援課スタッフ 異動のお知らせ (2022. 10~2023. 5)

2022. 10. 1

[採用]

中村 隆喜 教授 (日立製作所主任研究員から)

2023. 3. 31

[退職]

宇和野周一 情報部情報基盤課長 (早期退職)

2023. 4. 1

[転入]

菊地 茂樹 情報部次長 (兼) デジタルサービス支援課長 (情報部デジタル変革推進課長から)

南 裕子 総務係主任 (仙台高等専門学校総務課人事・労務係主任から)

[採用]

佐藤 美晴 会計係事務補佐員

[転出]

高橋 雄一 総務係主任 (工学部・工学研究科人間・環境系総務担当主任へ)

2023. 5. 1

[採用]

高橋和歌子 総務係事務補佐員

スタッフ便り 2

5月8日から新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更され、2020年初めごろから猛威を振ってきたコロナ禍にもようやく一区切りがつかしました。変更前には事実上の義務だったマスク着用等も義務ではなくなって、街角の風景も徐々にコロナ前の姿に戻ってきたように思います。ただ、当初と比べれば重症化する危険性が格段に減ったとはいえ、感染すれば依然としてそれなりの症状はあります。5類になったといっても、新型コロナウイルスが安全になったわけではないようです。今年は史上最高に暑い夏で、たださえ体調を崩しやすいのに、コロナ感染者数では次のピークが来ているようだという報道もありますね。体調管理や感染予防に気を付けつつ、数年ぶりの「普通の夏」を楽しみましょう。

個人的にも、出張が徐々に増えてきて、コロナ前と変わらない日常がやっと戻ってきたと実感する今日このごろです。外食の頻度も元に戻り、それに伴って体重もV字回復中です。健康診断でいろいろな数字が気になるお年頃なので、しっかり体重管理をしないといけないと分かっているのですが、目の前においしい食べ物があるとついつい欲張って食べ過ぎてしまいます。これから夏本番、さらには徐々に食欲の秋、己との戦いはまだ始まったばかりです。(H.T)

【青葉山赴任、自然とおふくろ弁当に恋して】

4月1日、私は新たな任地である青葉山へと足を運びました。中心街の喧騒から離れ、自然豊かなこの地に赴任することは、私にとって新鮮な喜びをもたらしました。

青葉山は、四季折々の風情を楽しむことができる場所です。春は新緑が目を楽しませ、夏は涼風が心地よく、秋は紅葉が山を彩り、冬は雪景色が静寂を包み込みます。その美しさに毎日心奪われるだろうと夢想しております。

しかし、青葉山での生活が私を変えたのは、それだけではありません。それは、某氏がこよなく愛し、強くおススメされたおふくろ弁当の存在です。

毎日の昼食には、某氏の推しのおふくろ弁当が欠かせません。その手作りの味は、まるで母の愛情を感じるかのよう。彩りを欠いた山積みの唐揚げと、ひしひしとおし固められ容器からはみ出した炊き立ての超大盛ごはん。ピリ辛で濃厚な味わいのチューブ製明太子トッピング。日本海式竜巻固めの要領で手渡ししてくれる店員さん。その一つ一つが、私の心と体を満たしてくれます。

そして、その結果が体重の爆上げにつながったのです。青葉山へ着任してから、私の体重は倍増しました。しかし、それは決して後悔しているわけではありません。むしろ、この体重増加は、青葉山での生活とおふくろ弁当への愛情の証と言えるでしょう。青葉山での生活は、自然とおふくろ弁当に恋する日々です。これからも、この地での生活を心から楽しみ、おふくろ弁当を堪能していきたいと思えます。



また青葉山は、私にとって新たな挑戦と成長の場となっています。国際卓越研究大学を目指す本学の目玉の1つとなっている NanoTerasu の稼働に向けて、スパコンと直結しての事業展開など、業務が拡大していく中で、自分たちの役割を再認識し、邁進していきたいと思えます。(S.K)



オープンキャンパス(2023. 7. 26-27)

SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 高橋慧智
今野義則 早坂和勝 大泉健治 小野 敏
斉藤くみ子

令和5年7月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
PDF作成 株式会社 東誠社